

【巡回指導〈3〉】広野町立 広野中学校

日程：2019年 6月1日（土）

参加者：広野中学校（10名）/ 佐藤先生、横山先生

指導者：田中直樹（元住友金属ギラソール）

同行者：事務局/松尾英紀、小色尚子



3回目の指導は田中直樹コーチです。指導の前に田中コーチがミニ講演をしました。「私たちは何で繋がっていますか？」の問いに「バレーボール！」と答えるみんな。では、バレーとは？の質問に、1人では出来ないスポーツ、協力し合うことが大切、声が必要など、ひとりひとりが意見をしっかりと伝えてくれました。声を出すのはなぜ？と田中コーチに問われ、首を傾げるみんなに某テレビ局のチョコちゃんが登場してきて、みんな大笑いです。「なぜ？には、必ず理由があります。コートでの6人でボールを落とさないでプレーする為には声を出し合う、黙っているのは思いや考えは伝わらない。大好きなバレーボールをするために必要な声を出し合しましょう。そしてレギュラーだけがチームではなく、アナリストとなってコートに選手に伝えたり、一番の応援団となって声援を送ったり、全員でチームなのです。みんなと一緒に頑張りましょう」と田中コーチから熱いメッセージがみんなに送られました。



早速、体育館に移動して実践です。3メンでは相手の構えを良く見て判断することの大切さ、サーブ、スパイク、ブロックは基礎やリズムの大切さを学びました。フォーメーションでは、チャンスボールから自分たちの役割の確認をしました。「考えるバレー」で混乱してきたみんな。見守る顧問の佐藤先生から「みんなできるよ！がんばれ！」と大きく温かな声援が送られました。



指導後は地区大会の壮行会を兼ねて保護者のみなさんがBBQをご用意してくださいました。保護者のみなさま、ありがとうございました。この日は「考えるバレー」でたくさん考え、悩みながら頑張ったみんな。踏ん張って乗り越えた先には、これまで見られなかった景色を見ることができ、自分を支える勇氣や自信へと繋がります。チーム全員で自分たちしかできない広野らしい素敵なバレーボールを繰り広げてくれると信じています。たくさんの人の温かさに見守られて3回目の巡回指導を終えました。